

第5回 札幌駅交通ターミナル検討会 議事概要

1. 日 時 令和5年3月1日（水）10時30分～12時00分
2. 場 所 札幌第一合同庁舎 2階 講堂
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議 事
 - (1) 挨拶
 - (2) 審議

- ・ 「検討事項の確認」「札幌駅交通ターミナル事業計画（案）」について、事務局より説明し、引き続き、事業計画の策定に向けて検討を進めることを確認。

【 委員からの主な意見等 】

(1) 札幌駅交通ターミナル事業計画（案）

- ・ バスも含めたネットワークの中で、広い視野でのエリアマネジメントを検討する必要がある。
- ・ イノベーションの受容ということで柱立てをしているが、イノベーションの受容という受け身的な内容だけではなく、札幌駅周辺は多様な企業が集積し、大学も付近に存在するような地区であることから、イノベーションを創造するという能動的な表現をしてはどうか。
- ・ 札幌駅周辺の現状について、都心アクセス道路（国道5号創成川通）が「社会資本整備審議会道路分科会北海道地方小委員会において審議をいただき」とあるが、札幌市の都市計画審議会でも審議しているので記載すべき。
- ・ 2階にある待合空間が交通結節点として必要な機能を確保するということと、バスターミナルから都心アクセス道路との効率的な動線のつながりについてまとめられているのは良いと思う。

(2) その他（今後の進め方、全般について等）

- ・ 新しいバスターミナルの整備に向けて利用者だけでなく、バス事業者にとっての利便性についても、事業計画の策定と並行して遅れることなく対応をお願いしたい。同時に、バス事業者との個別の協議を引き続きお願いしたい。
- ・ 新しいバスターミナルはこれからの公共交通のキーワードとなっている連携や共創の象徴となる施設となる。各バス事業者間、JR等とバス協会が連携しているというところをもっと前面に出した形でたくさんの提案をいただけるとより良い。
- ・ 新たなモビリティの活用は札幌駅前だけではなく都心全体でのことなので、抜本的に自転車専用レーンのような整備を検討してほしい。
- ・ コンセッション事業者が運営・管理をすることになれば、民間事業者に対して強力な力を持つことになりかねないので、コンセッションの機能、コンセッション事業者を調整する機能など、今後検討していくべき。

以上

第5回札幌駅交通ターミナル検討会 出席者名簿

(敬称略)

区分	氏名	所属等
有識者	高野 伸栄	北海道大学大学院 工学研究院 教授
	岸 邦宏	北海道大学 公共政策大学院 教授
交通事業者等	長屋 勝俊	北海道旅客鉄道(株) 総合企画本部 地域計画部長
	新保 忠幸	札幌駅総合開発(株) J Rタワー再整備推進本部 担当部長
	今 武	一般社団法人北海道バス協会 常務理事
	花倉 伸治	北海道旅客鉄道(株) 総合企画本部 札幌駅周辺開発部長
行政機関	松本 一城	国土交通省 北海道開発局 建設部 道路計画課 道路調査官
	西山 泰幸	国土交通省 北海道開発局 事業振興部 都市住宅課 都市事業管理官
	近藤 勝俊	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 次長
	久原 賢一	国土交通省 北海道運輸局 交通政策部 計画調整官
	久保田 一好	国土交通省 北海道運輸局 自動車交通部 旅客第一課長
	千代 紳	北海道 総合政策部 交通政策局 交通企画課 地域交通計画担当課長
	本間 広行	北海道 建設部 建設政策局 建設政策課 交通基盤担当課長
	宮崎 貴雄	札幌市 まちづくり政策局 総合交通計画部長
	山田 晋	札幌市 まちづくり政策局 都心まちづくり推進室 札幌駅交流拠点推進担当部長